

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：教育費 項：大学費 目：情報科学芸術大学院大学費

事業名 【新】大学院大学維持管理費（単建）

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 情報科学芸術大学院大学 電話番号：0584-75-6600

E-mail：c21905@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 12,767 千円 (前年度予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	12,767	0	0	0	0	0	0	0	12,767
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

計量法において、電力量計は法定有効期間が10年、水道メーターは法定有効期間が8年と定められている。

ソフトピアセンタービル及びワークショップ24の大学校舎の電力量計及び学生寮（RIST）水道メーターが老朽化によりこれに該当することから、対応するための工事が必要である。

(2) 事業内容

- ・大学校舎電力量計更新工事 電力計58個
- ・学生寮（RIST）水道メーター取替工事 水道メーター50個

(3) 県負担・補助率の考え方

県有施設等の維持管理であるため、県の負担は妥当である。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
工事請負費	8,380	電力計取替工事 電力量計老朽化のため、大学の電力量計を取替える。
	4,387	水道メータ取替工事 水道メーター老朽化のため、学生寮の水道メーターを取替える。
合計	12,767	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 今後の計画

管財課で策定される、「県有施設中長期保全計画」に基づき、計画的な修繕・更新を行う。

(2) 後年度の財政負担

「県有施設中長期保全計画」に基づき修繕工事費が発生する。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
電力量計、水道メーター老朽化に伴う取替を速やかに行い、安全、適正な大学施設管理を行う。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

事業内容が大学院大学の施設等の維持管理であるため、達成目標及びその指標の設定にはなじまない。

（これまでの取組内容と成果）

令和3年度	
令和4年度	<p style="color: red;">令和6年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和5年度	<p style="color: red;">令和7年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない 	
(評価) 3	学生が、自主的な研究及び学習が進められるような環境を提供するために、学校施設や設備の整備に関する事業は必須である。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない 	
(評価) 2	学校施設や設備の整備の維持管理を行うことで、大学院大学で学ぶ学生に対し、充実した研究環境を提供している。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている 	
(評価) 1	整備の緊急性や必要性等を総合的に判断し、効率的に整備している。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 各設備に経年劣化が散見されるため、整備必要か所は年々増加するものと考えられる。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 整備の緊急性や必要性等を総合的に判断し、効率的な整備を図る。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせる理由 や期待する効果 など	